

令和 7 年度各路線におけるコミュニティバスの利用実績報告について

コミュニティバス 6 路線※（光陽台線、門前線、西畑・有里線、北新町線、萩の台線、鹿ノ台線）について、令和 7 年度の利用実績の評価を実施した。

※桜ヶ丘線は、令和 7 年度は実証運行中であったため、評価対象に含めていない。

1. 利用実績評価

1.1. 評価方法

- ・令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月の 1 年間における運行費用（臨時的経費を除く）と収入合計（運賃収入、地元負担金、広告収入、サポーター制度の協賛金、国庫補助金）の差額から、運行費用に対する生駒市の負担割合を算出する。
- ・北新町線と光陽台線の病院線区間（生駒駅～生駒市役所～生駒市立病院の区間）は、評価に含まないものとする（生駒市立病院の開院に伴い、病院へのアクセスのために延伸されたものであり、利用者や沿線地区が収支に関して責任を負うものではないと考えられるため）。
- ・北新町線は、一部ダイヤで門前線区間を運行しており、当該区間については門前線に含めて評価を行う。
- ・サポーター制度の協賛金のうち、寄付先が一任されている協賛金については、令和 7 年度の生駒市負担割合が 70%に達していない路線（令和 7 年度は萩の台線のみが該当）へ充当する。

1.2. 評価結果

- ・ 令和 7 年度の各路線の評価結果は以下の通りである。萩の台線を除く 5 路線における生駒市負担割合は、評価基準である上限 70%を満たしている。評価基準を満たしている路線についても、運行費用の増大等により、昨年度と比べて生駒市負担割合の増大が確認される。
- ・ 利用者数が昨年度と比較して増加している路線は、光陽台線と萩の台線である。
- ・ 令和 7 年度及び令和 6 年度の各路線の詳細な評価結果は、次頁に掲載に示す。

光陽台線	・ 生駒市の負担割合は <u>35.9%</u>であり、評価基準（上限 70%）を満たしている。また、1 年間で 28,942 人の移動を支えている。門前線に次いで市の負担割合が低く、利用者数も多い路線となっている。 ・ 前年度と比較すると利用者数が増加したが運行費用が増大したことで、負担割合が 5.8%上がっている。
門前線	・ 生駒市の負担割合は <u>35.8%</u>であり、評価基準（上限 70%）を満たしている。また、1 年間で 30,973 人の移動を支えており、6 路線の中で市の負担割合が最も低く、利用者数が最も多い路線となっている ・ 前年度と比較すると利用者数が減少し、運行費用が増大したことで、負担割合が 7.1%上がっている。
西畑・有里線	・ 生駒市の負担割合は <u>61.0%</u>であり、評価基準（上限 70%）を満たしている。また、1 年間で 4,784 人の移動を支えている。 ・ 前年度と比較すると利用者数が減少し、運行費用が増大したことで、負担割合が 1.1%上がっている。
北新町線	・ 生駒市の負担割合は <u>59.8%</u>であり、評価基準（上限 70%）を満たしている。また、1 年間で 5,668 人の移動を支えている。 ・ 前年度と比較すると利用者数が減少し、運行費用が増大したことで、負担割合が 2.8%上がっている。
萩の台線	・ 生駒市の負担割合は <u>79.5%</u>であり、評価基準（上限 70%）を満たしていない。また、1 年間で 5,044 人の移動を支えている。 ・ 前年度と比較すると、自治会主催による 1 ヶ月まるごとバス運賃 100 円 DAY の実施等により利用者数が増加したが、車両の修繕などでそれ以上に運行費用が増大したことで、前年と比較すると負担割合が 0.8%上がっている。
鹿ノ台線	・ 生駒市の負担割合は <u>67.3%</u>であり、評価基準（上限 70%）を満たしている。また、1 年間で 8,220 人の移動を支えている。 ・ 前年度と比較すると利用者数が減少し、運行費用が増大したことで、負担割合が 2.9%上がっている。

表 1 令和 7 年度の評価結果

項目	単位	光陽台線 ※1	門前線	西畑・有里線	北新町線 ※2	萩の台線	鹿ノ台線
運行日数	日	242	242	242	242	149	141
利用者数	人/年	28,942	30,973	4,784	5,668	5,044	8,220
①運行費用 ※3	円/年	8,394,013	9,237,699	7,253,700	2,809,077	5,027,005	5,301,450
②運賃収入	A.現金	円/年	3,980,586	1,832,634	446,681	365,371	382,812
	B.回数券(利用金額)	円/年	1,331,838	4,069,730	570,680	721,567	617,600
	合計	円/年	5,312,424	5,902,364	1,017,361	1,086,938	1,000,412
③広告収入	円/年	64,020	26,400	26,400	26,400	16,255	33,000
④サポーター制度協賛金	円/年	3,500	3,000	5,500	17,000	14,000	4,500
⑤国庫補助金	円/年	0	0	1,780,000	0	0	0
⑥収入合計 ※4	円/年	5,379,944	5,931,764	2,829,261	1,130,338	1,030,667	1,402,496
⑦生駒市の負担額 ※5	円/年	3,014,069	3,305,935	4,424,439	1,678,739	3,996,338	3,565,643
⑧地元の負担額 ※6	円/年	-	-	-	-	-	333,311
生駒市の負担割合 ※7	%	35.9%	35.8%	61.0%	59.8%	79.5%	67.3%

表 2 【参考】令和 6 年度の評価結果

項目	単位	光陽台線 ※1	門前線	西畑・有里線	北新町線 ※2	萩の台線	鹿ノ台線
運行日数	日	243	243	243	243	151	142
利用者数	人/年	28,125	31,274	5,072	6,010	4,575	8,620
①運行費用 ※3	円/年	7,684,348	8,398,444	7,148,345	2,757,762	4,319,644	5,175,500
②運賃収入	A.現金	円/年	3,722,857	1,856,662	438,875	374,596	147,950
	B.回数券(利用金額)	円/年	1,490,747	4,095,530	618,650	766,618	729,200
	合計	円/年	5,213,604	5,952,192	1,057,525	1,141,214	877,150
③広告収入	円/年	79,860	26,400	26,400	26,400	26,400	33,000
④サポーター制度協賛金	円/年	80,000	13,000	4,000	17,000	16,000	22,000
⑤国庫補助金	円/年	0	0	1,778,000	0	0	0
⑥収入合計 ※4	円/年	5,373,464	5,991,592	2,865,925	1,184,614	919,550	1,528,246
⑦生駒市の負担額 ※5	円/年	2,310,884	2,406,852	4,282,420	1,573,147	3,400,094	3,332,191
⑧地元の負担額 ※6	円/年	-	-	-	-	-	315,063
生駒市の負担割合 ※7	%	30.1%	28.7%	59.9%	57.0%	78.7%	64.4%

※1 病院線区間の利用者を除いた評価結果

※2 病院線区間と門前線区間を除いた評価結果

※3 臨時経費（初期費用、ダイヤ改正や運賃改正に係る費用等）を除いた費用

※4 ⑥収入合計＝②運賃収入＋③広告収入＋④サポーター制度の協賛金＋⑤国庫補助金

※5 ⑦生駒市の負担額＝①運行費用－⑥収入合計－⑧地元の負担額

※6 奈良交通重複区間の経費

※7 生駒市の負担割合＝⑦生駒市の負担額÷①運行費用×100